



近畿支部会報2022年3月号

支部長 Ak

COVID-19 蔓延防止等重点措置も近畿では延長の方向で検討されています。「第6派」オミクロン株による感染が拡がり高齢者と子どもの感染者が増えてきています。三回目のワクチン接種、5歳～11歳への接種開始と聞くと保護者でなくても心配だと思えます。

北京冬季オリンピックもパラリンピックの開催となりました。そんな中、武力で物事を解決しようとしている指導者が力を持って突き進んでいます。結末は悲劇しか思い浮かびません。世界中の人たちが平和を求めて行動しています。

ワールドニュースで WORDLE を知りました。人気のオンライン単語ゲームです。早速やってみました。ルールは簡単で5つのアルファベットの言葉を探します。その場所があてれば緑、そこではない場合は黄色、間違っていれば黒っぽく表示されます。知っている単語だったり、あまり



使ったことのない単語だったり辞書を片手に挑戦しています。

このサイトには日本語もあります。

<https://www.powerlanguage.co.uk/wordle/>

<https://taximanli.github.io/kotobade-asobou/>

最近読んだ本を紹介します。『その言葉、もう使われていません』（日本語倶楽部編）。時代は昭和、平成、令和と変わっています。ことばも変わってきています。古い日本語をアップデートしませんか？

「その言葉、もう使われていませんよ」と言われたいよう日本語の鮮度をチェックしましょう。

古い日本語	新しい日本語
ホームステイ	ホームステイ
マッキンリー山	デナリ山
揚子江	長江
巻き戻し	早戻し
ニッキ	シナモン
ハッカ	ミント
スポーツマン	アスリート

今回の会報は、次の内容でお届けします。

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1. 例会報告 | 京都市 Wh |
| 2. 日本海側こそ表日本 | 久御山町 At |
| 3. 自然や地域社会と共生可能な再生可能エネルギーの開発を！ | 京都市 Ht |
| 4. お知らせとお願い | 支部長 Ak |

1. 例会報告

今回も残念ながら Zoom になった支部例会の日 2月 23日(水)は、今季一番の冷え込みでした。参加者は、Mさん、Kさん、Wさん、Kさん、Oさん、Mさん、Nさん、A夫妻、Wの10名でした。

京都市 Wh



まずは舞鶴より参加されたKさんの40cm積雪の話に思わず声を上げました。狭い日本ですが、こんなにも違うものかと…

Aさんのロマン溢れる日本の古代、古墳時代のお話。裏日本は昔は表日本だったというお話。その理由は日本海側の海流の流れが遅いこと、大陸に近いこと等が要因で、点在する豪族の邸宅跡地が栄華をもの語っていると思われます。ご夫婦で2年に渡り講演に参加、丹後地方の神社、古墳めぐりなどをされ、私達に知識と面白処を紹介してくださいました。日本昔話のポピュラーな浦島太郎と思われる浦嶋子という人物の住居跡に「しわ榎」と呼ばれる不思議な木があるそうです。浦嶋太郎と言えば玉手箱ですが、その煙で傍にあった木がしわになったのかと思われましたが、実際は違ったようです。老いの姿を見た浦島太郎が、出来てしまったしわを木に投げつけたというのが真実だそうです。他にもたくさんの古墳が京都を縦断して存在している等、歴史的な魅力満載の興味ある楽しいお話をたくさん語っていただきました。

変異し続けるコロナウィルス、悪化するウクライナ情勢など不穏な日々ですが、少しの時間現実逃避出来ました。

準備してくださいましたAさんご夫妻に感謝申し上げます。

2. 日本海側こそが表日本

久御山町 At

ずっと以前、日本海側は、裏日本と言われていました。今回、何度も京都北部を訪れ、日本海側は裏どころか表側だった歴史を知りました。

丹後半島の周りに全長198mの前方後円墳など日本海三大古墳があります。古墳には9.7cmの青色に光るガラスの腕輪がありました。飛鳥や奈良では見つからないガラスなので、日本海から来たとしか考えられ



ません。「方格規矩四神鏡」には青龍3年（西暦235年）」という中国の年号が刻印されています。日本最古級の遠所遺跡製鉄工房跡もあります。日本海を通る交易が縄文時代からあり、長安—渤海—日

本海—奈良をつなぐ、もう一つのシルクロードがあったのです。ヤマト王権に対して丹波王国があったとも考えられています。

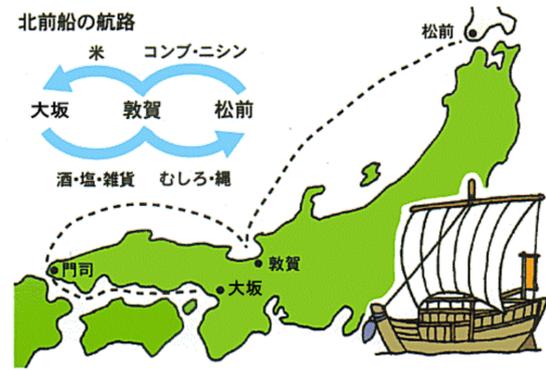
伊勢神宮の前に存在したという「元伊勢」と呼ばれる神社も巡りました。丹後一宮元伊勢籠神社と元伊勢三社の元伊勢外宮豊受大



じんじゃ ないく こうたい
神社、元伊勢内宮皇大神社、天の岩戸神社です。それぞれ伊勢神宮と同じ神明造りで、樹皮がついたままの最も古い形式の黒木鳥居もくぐりました。



たいざ
間人に聖徳太子の母、
あなほ べはしうど
穴穂部間人皇后が身を
寄せたと伝えられてい
ます。綾部市には聖徳太
子創建と伝わる光明寺
仁王門もあり、京都府北
部唯一の国宝です。飛鳥
時代には山陰道を含む
五畿七道が整備され、天橋立の近くには丹後国分寺も建立されました。



大江山の鬼退治の話は、平安時代の源頼光が有名ですが、3つの違う時代の鬼伝説があって、古墳時代の丹波風土記にも記されています。丹後半島にも浦島太郎の伝説があり、浦嶋神社も浦島太郎が玉手箱を開いた場所もあります。

日本海の方が航行しやすかったので、江戸時代には北前船の航路として大いに栄えました。今も各港に贅沢な豪商の家が残っています。奈良や京都では気づかなかった、興味深い歴史を学ぶことができました。

4. 自然や地域社会と共生可能な再生可能エネルギーの開発を！

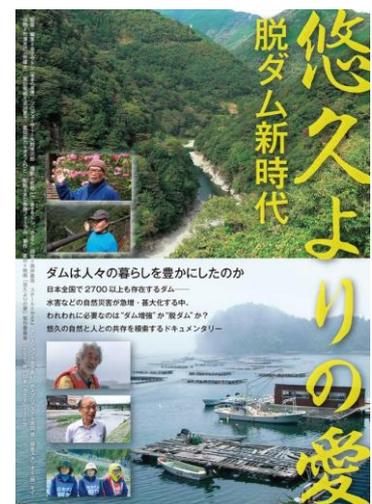
京都市 Ht

年末から新年にかけて大雪が降りました。また、USA では巨大な竜巻が起きました。以前は想定外という言葉がぴったりする事がありましたが、今は何が起るかわからない世になり、想定外が当たり前になっています。これらは地球温暖化の影響、つまり CO₂ が問題です。脱炭素に向けて自然や地域社会と共生可能な再生可能エネルギーの開発に取り組んでいる映画を2本見たので、皆様に紹介します。

1. 悠久よりの愛～脱ダムの新時代～

日本には 2700 基以上の大規模ダムがあります。大規模ダムは河川の水を水資源として合理的に集める事が出来る一方、水源をせき止めてダム湖にする事で、美しい自然は破壊され、ダムを作るために村は水の底になり、そこに住んでいる住民は全てを奪われてしまいます。又、ダムはそこで川の流れを分断するので川の生態系が失われ、水中の生き物が生きられなくなります。その上、大規模ダムは近年増発している局地的ゲリラ豪雨に即応出来なくて、緊急放流で流域住民の命を危機にさらす事もあります。この映画はそういう中で大規模ダムは要らないと大規模ダムの建設を断念させたり、一旦出来た大規模ダムを撤去させて、自然と人間の共存を模索しているドキュメンタリー映画でした。

主な登場人物はダム建設を断念させた気仙沼の漁師、畠山重篤さんと京都「志明院」の住職、田中真澄さんです。畠山さんは「森は海の恋人」が信念で、ダムは治水、利水のために作られるが、治水のためには山に植林すれば土地が水を吸収するのでダムは要らないと 32 年



に渡って地元の人と協力して木を植えて、植林した所では大水が降っても洪水が起らない事を実証しま



島山さん

した。又、ダムが出来る事で水中のプランクトンを餌にして気仙沼で生息している食用の貝も生きられなくなり、それは貝にとっても漁師にとっても死活問題だとダム建設を阻止しました。

一方、田中さんは鴨川の源流に住んでいられるのですが、京都市が鴨川に大規模ダムを建設するという計画に対して、沿線住民と協力してその計画を断念させ、山紫水明の京都を守りました。近年、川にある土砂を取り除いてそれを山に捨てて土砂崩れを起こしたりしているが、川の土砂は流れていくうちに小さな砂になって水と共に下流に流されて、その砂がある事で川が海に出た時に急に深い海にならなくなっている。そのおかげで水中の生き物は上手く生きる事が出来る。土砂が取り除かれると急に深い海になって水中の生き物は存在を危うくされる。又、鴨川の上流には川が段のように急に深くなっている所がある。そこでは希少なサンショウウオなど川の生き物は、川から遡上出来なくて、一旦側道に出て上流に行っていた。しかし、近年道路が舗装され、車が通るようになると、それらの生き物は車にはねられて死んでしまう事も起こっていると、段差が大きい所に川を遡れる装置を作って川の生き物を守っていられます。



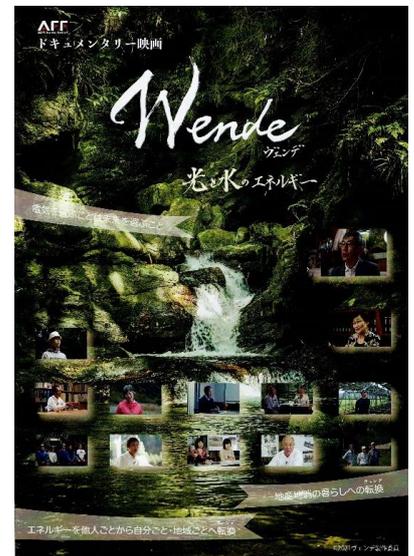
田中さん

映画の美しい画面とそこに生きる人たちの心意気を心に満たせて豊かな気持ちになると共に、CO₂を排出しない再生可能エネルギーは全て善であるのではなく、環境への影響等他の要因も考慮しなければならないという大切な事に気付かされた良い映画でした。

2. Wende ～今、私たちはエネルギー革命の真ただ中にいる～

題名の Wende (ヴェンデ) はドイツ語で大革命を意味し、又、化石燃料から自然エネルギーへと転換するエネルギー革命の意味でも使われます。

この映画は近畿地方を中心に自然エネルギーに取り組んでいる所を取材されたドキュメンタリー映画でした。人々が自然エネルギーに取り組まれる動機、それは 3.11 震災の原発事故をきっかけに、気候危機をきっかけに、あるいは環境問題の中で等々様々です。Cop26 でも報道されたように、世界が自然エネルギーに舵を切る中、化石燃料にしがみついて不名誉な化石賞を与えられた日本、しかし、民間では多くの人たちの自然エネルギーへの取り組みがある事を教えてくれました。取材された所、全てを紹介できませんがいくつか紹介します。



太陽光パネルー新婦人京都府本部農民連産直センター



亀岡にある農民連京都産直センター、屋根には太陽光パネルが設置されています。その建設資金は公募され、出資者には京都府産のフルーツを中心に、5～10年間届けられるという物です。フルーツの生産者は10年間安定した出荷が出来、安心安全で美味しいフ

ルーツを作り続ける事への意欲にも繋がっています。これは子どもや孫に産直を受け継げる、世代を超えた取り組みになっています。今回の運動をさらなる再生可能エネルギーの普及、そして、原発のない社会の実現を目指していくための大きな柱にしていきたいと新婦人の方は運動の方向性を示されました。

小水力発電～つくばね発電所～

奈良県の東吉野村は面積の95%以上を森林が占め林業が盛んでしたが、建築様式の変化や木材の自由化、バブル崩壊等で、吉野材の価格は低迷していきました。そして、過疎化による後継者不足等から林業そのものが大きな岐路に立たされていました。その東吉野村には幾筋も谷川があり、地域に電力を供給するために大正時代より自然と調和した小水力発電事業が行われていました。それが昭和38年に閉鎖されました。2013年（平成25年）水資源を活かした地域づくりを計画し、「生き生きと笑顔あふれる村」になる事を推進するため、村民が一丸となって村の活性化を目指して、「つくばね発電所」の復活プロジェクトを開始しました。資金は金融機関からの借入と市民ファンドで調達し、つくばね発電所を復活させました。発電した電力は全量を固定価格買取制度（FIT）で関西電力に売電します。折しも東吉野村では2013年に「クリエイティブ・ビレッジ」構想を打ち出して、若い芸術家が移住してきています。小水力発電を導入する事で地域に新たな産業がおこり、若い人や都会の人が移住してくるようになりました。このように売電で得た収益を基金運用し、東吉野村の林業の活性化や環境教育と交流の場づくり、地元の様々な活動に役立てられています。



この他にも森林の間伐材等を使って森林を活性化させ、地域の活発化を図るバイオマス発電も報告されました。ただ、バイオマス発電はCO2を排出するので、電力として使うのではなく、地域の農業分野や温泉施設等で熱のまま利用されていました。

報告しきれない程の取り組みがこの近畿地方にもある事に気付かされた映画でした。ドイツやデンマークでも住民による自然エネルギーの取り組みが主流ですし、正に私たちは映画の題名「Wende」に示されるようにエネルギー革命の真ただ中の中にいます。皆がこの事を肝に銘じて自分の事として捉え、住民が主体となった自然や地域社会と共生可能な再生可能エネルギーの開発を進めて、不名誉な化石賞の汚名を返上して、豊かな地球を未来に残して行ければ良いなあと思いました。

4.お知らせとお願い

支部長 Ak

*次の例会は、4月10日（日）『支部会員Tさんの花園を訪ねよう』を予定しています。参加申し込みの締め切りは3月20日です。新型コロナウイルスとの関係で、Zoom オンラインミーティングに変更もあります。

*住所、電話、メールアドレス等変更がありましたら支部長までお知らせください。